

試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2023年度 大学入学試験問題 一般選抜Ⅱ期

国 語

注意事項

1. 解答用紙にはマーク用と記述用があります。解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - ①氏名欄
氏名・フリガナを記入しなさい。
 - ②空欄
解答用紙（マーク用）「年月日欄」の右横の空欄に「国語」と記入しなさい。
 - ③番号欄
受験番号を左詰めで記入し、さらに解答用紙（マーク用）には番号欄の下のマーク欄にマークしなさい。
2. この冊子は、問題が27ページあります。
3. 試験中に印刷の不鮮明、落丁・乱丁あるいは解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
4. 受験番号が正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。
5. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。たとえば、

10

 と表示のある問いに対して 3 と解答する場合は、(例)のようにマークしなさい。記述式問題は記述用解答用紙に記入しなさい。

(例)

解答 番号	解 答 記 入 欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

6. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

□ 次の問に答えなさい。

問一 次の言葉の類義語をそれぞれ1から4の中から選びなさい。解答番号は、①は□1□、②は□2□、③は

3

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ① | 由緒 | 1 | 来歴 | 2 | 因果 | 3 | 本質 | 4 | 契機 |
| ② | 殊勝 | 1 | 完璧 | 2 | 感心 | 3 | 栄光 | 4 | 横柄 |
| ③ | 不精 | 1 | 落胆 | 2 | 愚鈍 | 3 | 気絶 | 4 | 怠惰 |

問二 次の言葉の対義語をそれぞれ1から4の中から選びなさい。解答番号は、①は□4□、②は□5□、③は

6

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ① | 阻害 | 1 | 成功 | 2 | 助長 | 3 | 開放 | 4 | 指導 |
| ② | 虚構 | 1 | 事実 | 2 | 質実 | 3 | 充実 | 4 | 誠実 |
| ③ | 固辞 | 1 | 柔軟 | 2 | 快諾 | 3 | 広義 | 4 | 翻弄 |

問三 次の語の空欄に、それぞれ1から4の中から最も適当な漢字を選んで補い、四字熟語を完成させなさい。解答番号は、①は 、②は 、③は 、④は

- | | | | | | | | | | | |
|---|------------------------|-------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 一 <input type="text"/> | 打尽 | 1 | 網 | 2 | 網 | 3 | 妄 | 4 | 耗 |
| ② | 夏 | 炉冬 <input type="text"/> | 1 | 扇 | 2 | 泉 | 3 | 布 | 4 | 腐 |
| ③ | 旧 <input type="text"/> | 依然 | 1 | 体 | 2 | 来 | 3 | 態 | 4 | 弊 |
| ④ | 軽 <input type="text"/> | 浮薄 | 1 | 喋 | 2 | 聴 | 3 | 兆 | 4 | 佻 |

問四 次の空欄に、それぞれ1から4の中から語を選んで補い、慣用句を完成させなさい。解答番号は、①は 、②は 、③は 、④は

- | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------------|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 怒り心頭に <input type="text"/> | する | 1 | 発 | 2 | 達 | 3 | 供 | 4 | 窮 |
| ② | <input type="text"/> | 穴を掘る | 1 | 暮 | 2 | 碁 | 3 | 墓 | 4 | 豎 |
| ③ | 愚の <input type="text"/> | 頂 | 1 | 絶 | 2 | 登 | 3 | 骨 | 4 | 忽 |
| ④ | 立つ <input type="text"/> | がない | 1 | 瀬 | 2 | 背 | 3 | 世 | 4 | 鳥 |

問五 次のことわざ・故事成語の意味を、それぞれ1から4の中から選びなさい。解答番号は、①は 、②は 、

③は 、④は

① 寒翁が馬

- 1 幸福も不幸も最終的には同じくらいになる。
- 2 好機を逃さず、一気にものにしななければならない。
- 3 上手くいかない時はじっとしているのがよい。
- 4 人生の幸福や不幸は予測することができない。

② 夜郎自大

- 1 周囲の迷惑を顧みず好き勝手振舞うこと。
- 2 人に迷惑をかけても平気であること。
- 3 自分の力量もわきまえずに威張ること。
- 4 横暴な振舞いにより嫌われること。

③ 氏より育ち

- 1 生まれ持った才能よりも後天的な努力の方が大切であるということ。
- 2 所属する集団よりも、その人物の人柄の方が大切であるということ。
- 3 名前や外見よりも人柄や内面の方が重要であるということ。
- 4 家柄よりも育つ環境の方が人柄に大きく影響するということ。

④ 鰯いわしの頭も信心から

- 1 つまらないものでも、信仰すれば御利益は必ずあるということ。
- 2 自身が卑小な存在であっても、信仰すれば報われるということ。
- 3 つまらないものでも、信仰するとありがたく思えるということ。
- 4 何事においても、まずは信じてみるのがよいということ。

□ 次の方章を讀んで、あとの問に答えない。

本文削除

(戸田山和久『科学的思考』のレッスン 学校で教えてくれないサイエンス)

問一

□ A □ から □ E □ に入る言葉をそれぞれ1から5の中から選びなさい(ただし、同じ記号は一度しか使えない)。

解答番号は、Aは □ 19 □、Bは □ 20 □、Cは □ 21 □、Dは □ 22 □、Eは □ 23 □

- 1 あるいは
- 2 しかも
- 3 せめて
- 4 その結果
- 5 たとえば

問二 傍線アからウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の1から5の中から選びなさい。解答番号は、アは □ 24 □、

イは □ 25 □、ウは □ 26 □

- 1 家族をフヨウする
 - 2 僻地へきちにフニンする
 - 3 エイエンフハンの愛を誓う
 - 4 フハントキな法則を見出す
 - 5 容疑者としてフジヨウする
- ア 「フダン」

- イ 「タクバツ」
- 1 デンタクで計算する
 - 2 タクジシヨに預ける
 - 3 法案がサイタクされる
 - 4 新たな土地をカイタクする
 - 5 会社からキタクする

- ウ 「フシヨウジ」
- 1 経歴をサシヨウする
 - 2 無実をシヨウメイする
 - 3 シヨウメイがまぶしい
 - 4 シヨウダンが成立する
 - 5 文明のハッシヨウ地を訪ねる

問三 傍線①「これって『市民』でしょうか?」とあるが、筆者の考える「市民」の在り方とはどのようなものか。本文中の適当な箇所を抜き出し、次の文の空欄を、指定する文字数で埋める形で説明しなさい。ただし、句読点や記号も一字と数える。解答は記述用解答用紙に記入すること。

十六字

として、

十九字

であることを自覚して行動している。

問四 傍線②「シベリアン・コントロール」と同じ意味の言葉を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

27

- 1 文民統制
- 2 思想統制
- 3 国家統制
- 4 言論統制
- 5 情報統制

問五

X に入る語句として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

28

- 1 糾弾
- 2 自問
- 3 弾劾
- 4 追及
- 5 詰問

問六 傍線③「説得のレトリック」とあるが、その具体例として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号

は 29

- 1 弁護士と依頼者には知識量の差があるので、納得できないことがあれば質問すべきだ。
- 2 自分のことを信用しろと言う友人の言うことは、たいていの場合、信用すべきではないだろう。
- 3 子供の頃に親に言われていたことの正しさは、自分が親になったときに初めてわかるものだ。
- 4 原子力の話は難しいため、本を読むだけでなく専門家の話を実際に聞いた方がよい。
- 5 患者は医療知識が乏しいが、医者のお話をしっかり聞いておけば大きな問題にはならないだろう。

問七

Y に入る語句として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

30

- 1 異常事態の日常化
- 2 科学技術力の低下
- 3 異常事態の非日常化
- 4 安全神話の崩壊
- 5 日常の崩壊と再生

問八 傍線④「被ばく」とあるが、原爆による被ばくを扱った作品に『黒い雨』がある。「この作品の作者を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 遠藤周作
- 2 松本清張
- 3 川端康成
- 4 原民喜
- 5 井伏鱒二

問九 傍線⑤「プロセス」と同じ意味の言葉を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 順序
- 2 過程
- 3 系統
- 4 書類
- 5 会議

問十 に入る語句を本文中から七字で抜き出なさい。解答は記述用解答用紙に記入すること。

問十一 傍線⑥「リテラシー」とは、どのような意味か。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 他者の立場に立って共感する能力
- 2 筋道を立てて論理的に思考する能力
- 3 ある分野の知識やそれを運用する能力
- 4 場の空気を読み取る能力
- 5 自己を客観的に捉える能力

問十二 傍線⑦「市民になりたくないなら、科学を学ぶ必要なんか、やらなきゃ」とあるが、「」からうかがわれる筆者の考えはどのようなものか。本文全体を踏まえて最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 市民になりたい人は科学を学ばねばならないが、市民になりたくない人は科学を学ぶ必要はない。
- 2 市民になりたい人にとっても市民になりたくない人にとっても科学リテラシーは重要な力である。
- 3 科学リテラシーを備えた意思決定の主体として、多くの人に社会を支える市民になって欲しい。
- 4 社会にとって必要なのは科学をしっかりと学んだ市民であり、そうでない人は社会に不要である。
- 5 市民になるかならないかということ、科学を学ぶ必要があるかないかということは無関係である。

問十三 この文章では、論を進めるうえで他の文献が多く取り上げられているが、筆者がそのようにする意図の説明として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 内田樹の文章を引用したのは、社会の一員としての自覚のない「大衆」が社会にもたらす害悪を説明するためである。
- 2 内田樹の文章を引用したのは、安易に他者を非難するのではなく、他者に寛容になることの重要性を示すためである。
- 3 中川恵一の文章を引用したのは、原発事故の後は説得のレトリックが機能しなくなったことを裏付けるためである。
- 4 小出裕章の文章を引用したのは、自説と対照的な見解を取り上げて比較することで、自説を強調するためである。
- 5 中川と小出の文章を引用したのは、放射線防護について市民の主眼的な意思決定が必要であることを示すためである。

問十四 本文の内容と一致するものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

36

- 1 日本の専門家は、お上の期待に沿う形で研究を進めるが、問題が生じた際は責任を転嫁する傾向がある。
- 2 放射線のリスクについては、不安をあおるのではなく、丁寧な説明により安心させることが必要である。
- 3 原発や放射線に対する不安は、市民の無理解が原因であるので、科学コミュニケーションが必要である。
- 4 被ばくのリスクをどの程度許容するかということについては、科学的合理性だけで判断すべきではない。
- 5 不確実な事柄に関する情報については自分一人で判断するのではなく、他者から助言をもらうべきである。

☐ 三 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

本文削除

(國分功一郎『近代政治哲学——自然・主権・行政』)

問一 傍線①「逆説」と同じ意味の言葉を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は☐ 37

- 1 アポリア
- 2 アイロニー
- 3 コンフリクト
- 4 アナクロニズム
- 5 パラドックス

問二 傍線アからウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の1から5の中から選びなさい。解答番号は、アは☐ 38、イは☐ 39、ウは☐ 40

- 1 ショウドウに駆られる
 - 2 ショウ/シ期限を過ぎる
 - 3 製品のホシヨウ期間
 - 4 損害バイシヨウを請求する
 - 5 通信シヨウガイが発生する
- ア 「ダイシヨウ」

- イ 「ヨウイ」
- 1 明日のヨウイをする
 - 2 ドウヨウを隠せない
 - 3 イヨウな光景に驚く
 - 4 ショウヨウたる面持ち
 - 5 救援をヨウセイする

- ウ 「ヨチ」
- 1 不況のヨハを受ける
 - 2 未来をヨチする
 - 3 ヨキンを引き出す
 - 4 メイヨ教授に就任する
 - 5 セイサツヨダツの権を握る

問三 から に入る言葉をそれぞれ1から5の中から選びなさい(ただし、同じ記号は一度しか使えない)。

解答番号は、Aは 、Bは 、Cは 、Dは 、Eは

- 1 あるいは
- 2 ところが
- 3 確かに
- 4 したがって
- 5 たとえば

問四 傍線②『権威』という言葉で理解した方がよい」とあるが、なぜそう言えるのか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 46

- 1 封建時代の王権は、神秘的で呪術的な力を備えていたが、支配地域のすべての人がそれを信じていたわけではないから。
- 2 封建時代の王権は、封建制が成立するよりはるかに前の時代から存在し、支配の対象となる範囲があまりにも広すぎたから。
- 3 封建時代の王権は、たしかに超越的で強力な権威を持っていたが、実際の統治は各地の権力者が独立して行っていたから。
- 4 封建時代の王権は、その周囲に多数独立して存在している、教会勢力や領主と同等の支配力しか有していなかったから。
- 5 封建時代の王権は、呪術的な力を備えていたが、封建諸侯から反乱を起こされることも決して珍しくはなかったから。

問五 傍線③『王の奇跡』と呼ばれる有名な信仰」とあるが、筆者は何がそのような信仰を生んだと考えているか。本文中の適当な語句を七字で抜き出さない。解答は記述用解答用紙に記入すること。

問六 傍線④「枚挙にいとまがない」とは、どのような意味か。最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 47

- 1 余りに忙しく、少しの暇もないこと。
- 2 たくさんありすぎて数えきれないこと。
- 3 客が殺到し、お店がにぎわうこと。
- 4 候補が多すぎて、一つに決めきれないこと。
- 5 数が少なすぎて、珍しいこと。

問七 傍線⑤「封建国家の『網の目』状の統治機構」とは、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の

中から選びなさい。解答番号は

48

- 1 封建国家は、契約関係によって形成された封建的主従関係に基づく明確な序列により統制された組織であるということ。
- 2 封建国家は、対等な双務的契約関係により構成された組織であり、その構成員の間には一切の義務がなかったということ。
- 3 封建国家は、互いに対等な、複数の双務的契約関係が取り結ばれた契約関係そのものと言える組織であるということ。
- 4 封建国家は、自由な契約に基づく組織であり、一人の封臣が同時に多くの主君に仕えることが奨励されていたということ。
- 5 封建国家は、封建的主従関係に基づく組織であり、国王が上から一方向的に指示を出すことで統治されていたということ。

問八 傍線⑥「授与」の「与」と異なる意味を持つものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

49

- 1 タイ与
- 2 キヨウ与
- 3 キユウ与
- 4 キ与
- 5 ゾウ与

問九 傍線⑦「さらに興味深いことが分かる」とあるが、筆者にとって何が「興味深い」のか。本文中の適当な箇所を抜き出し、次の文の空欄を、指定する文字数で埋める形で説明しなさい。ただし、句読点や記号も一字と数える。解答は記述用解答用紙に記入すること。

近代国家は が、封建国家には ため、 が不可能であること。

問十 傍線⑧「秩序」と同じ意味の言葉を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 パトス
- 2 コスモス
- 3 ドグマ
- 4 エポック
- 5 デフォルト

問十一 傍線⑨「私の封臣の封臣は私の封臣ではない」とは、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 一般の人民は国王に従属し、封建諸侯もまた国王に従属しているが、一般の人民と封建諸侯は直接の関係がないということ。
- 2 契約関係の組織である封建国家には、立法の観念そのものが存在せず、契約が慣習と並んで重要な法源となるということ。
- 3 最高権力者である国王が君臨し、その周囲に契約で結びついた多数の権力が存在している状況が成立しているということ。
- 4 一般の人民と封建諸侯、封建諸侯と国王の契約はそれぞれ独立したものであり、三者のつながりは直線的ではないということ。
- 5 国王が慣習的な秩序によって封建諸侯を従わせ、国王の持つ権限を用いて封建諸侯が一般人民を支配するということ。

問十二 傍線aからeの中で、一つだけ品詞の異なるものとして最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号

は

- 1 a 2 b 3 c 4 d 5 e

問十三 本文の内容と一致するものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

- 1 独立した複数の権力が併存していた封建時代には、王は名前だけのものであり、実質は一領主に過ぎなかったと言える。
- 2 国王が手を触れることによって人々の病を治したという逸話は、国王の権威を高めるために創作されたものである。
- 3 封建国家では、場合によっては封臣は封主に従わなくてもよかったため、国内・国外という区別が存在しなかったと言える。
- 4 契約関係によって組織化された国家である封建国家においては、慣習的な秩序が法の代わりとなり、最も力を持っていた。
- 5 近代国家とは異なり、立法権という観念自体が存在しない封建国家においては、契約と慣習が重要な法源となる。

(設問以上)

※著作権の関係で、本文は省略させていただいております。

ご覧になりたい方は、本学にお問い合わせください。